



～ 社訓☆誠意～

社長室だより



2022年8月末号

7月末号に父の事を書いたのを覚えていますか？老いてもなお時々本当に的を得た事を言い胸に刻んでおくべきだと称えたのだが、それを知ってか知らずか、8月2日火曜日午前3時51分95年と9カ月14日鈴木成正はこの世を去った。最愛の妻は冷たくなった父の手を握り「お父さんありがとう！」と涙を流したが、その場を離れると父が旅立ったことは忘れ「お父さんいつ帰って来るの？」と私に聞いてくる。旅立つ朝まで順調に回復し、いよいよ来週退院する予定だったが、流動食に切替えて歩行訓練も必要。会社の事務所に階段を登るのはほぼ不可能となった。毎日会社に行きたくて私の支度が終わるのを今か今かと鈴木運送の作業着を身に付けて帽子をかぶって待っていたが、本人も到底連れて行ってもらえない、もう会社に行けないと悟ったか？かといって私も一人にするわけにもいかず施設に通わせる手続まで完了して備品手配まで準備していたのだが。父は「そんな所に行けるか！もういい、以上終わり！」と自分で腹を括り、当日の病院食を完食して6時間後に旅立った。大正15年生まれ、昭和、平成、令和を生き抜き、第2次世界大戦は最後の学徒動員？だった。出兵の日、父の母親が「死ぬ事だけがお国の為ではない！生きて帰ってこい！」と言われ、広島原爆投下後の真っ赤な炎が立ち昇る夜景を駐屯地で見たとそう。戦後は学業と家業を兼務し、羽田で郵便局の窓口で働いていた母に一目ぼれして母の妹に頼んで駅で待ち合わせしたりし、母の父に大反対されたのを兄弟たちの加勢で結婚にたどり着いたようで、父が入院するまで私が運転する車の中で都度「八重子はいいやつなんです。私たちは恋愛結婚なんです。私が死んだら八重子を頼みます。」とオイオイ泣いていた。死後約1ヶ月未だに「お父さんいつ帰って来るの？お父さんのご飯のおかずが足りないの！」と毎日言ってくる。「明日帰って来る！」と今は家族全員そう答えている。私は私で父には毎日こう話しかける「父さん。まだお母さんを連れて行かないでよね！私がふたつの会社を立て直し、企業として存続できる道筋を作り、それを母さんに見届けてもらい、更に私の次にバトンタッチができるようになったら、お父さんが築き上げた二つの会社と業界の為に尽力していた事のかたちが出来上がった事を母さんと見届け、私も母さんに父さんにできなかった孝行が少しでもできてからその報告を聞くためにそっちに呼んで欲しいと。だから皆さん私に親孝行できるよう協力して！

このところ度々人として又社会人としてあまりに自己中心モラルやマナーを知らないで、よく今日まで仕事をしてきたなど憤りさえ感じる事がぼつぼつ当社に出てきたと感じてます。社訓 誠意とは勿論、そう思われる人に対しても十分時間をかけて話し合い、お互いの納得のもとで事を進める事も含まれますが、温情やフォローをすることができる限りのことをしていると分かっているにもかかわらず、手のひらを反すような赤子のような行動をされると怒りを抑えきれない事が有りました。まだまだ私自身修行が足りぬと思いますが上記の如く父に誓っただけに、そして私の決断で42名の従業員とその家族の人生が変わるからと言う重責をしょっているのですから鈴木成正のように肝っ玉を吸えて「一念巖も通す」気持ちで実態での鈴木成正の後ろ盾はなくなります踏ん張って行こうと思っております。どれだけの人がこれを読んでくれているかはわからないけど。皆さん今後もよろしくお願い致します。



9月にお誕生日を迎える皆さん



9月3日 平塚 日通 ADEKA 商品商品配送便専属 [redacted] 君 10月で入社1年

24日 平塚 YTR 埼玉三郷便+全農横持便担当 [redacted] 勤続年数3年3ヶ月

まだまだフレッシュマン 若い二人の今後の活躍に期待しております！